

Otolaryngological strategy No.5

耳鼻咽喉科感染症の **ウソ** **ホント**

アレルギー性鼻炎に伴った細菌性副鼻腔炎は
X線撮影で診断できる

ウソ

症例：38歳、男性

経過：2ヶ月前からくしゃみ、鼻水が続いていたが、1週間前から鼻水が黄色の膿性に変化し、右頬部痛や後鼻漏が増強してきた。

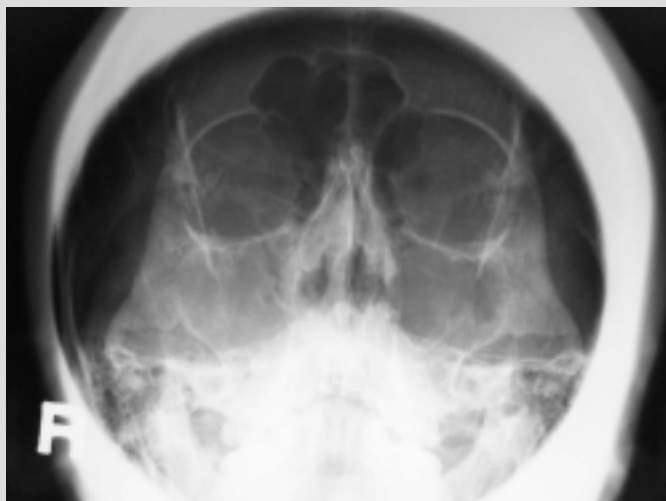
鼻腔細菌検査：右中鼻道からの細菌検査により肺炎球菌(中等度ペニシリン抵抗性PISP)が検出された

X線画像診断：

単純写真 両側上顎洞にびまん性陰影が認められ、両側の急性細菌性副鼻腔炎が疑われた

断層写真 右上顎洞および篩骨洞にびまん性陰影が認められたが、左上顎洞にはアレルギー性炎症によると考えられる粘膜のポリープ様変化が認められた

単純写真



断層写真



アレルギー性鼻副鼻腔炎の**単純X線撮影**では、上顎洞のびまん性陰影を示すことが多いため、細菌性副鼻腔炎との鑑別は難しい。

(鮫島靖浩:花粉症とアレルギー性副鼻腔炎、ENTONI 17:18-22, 2002…アレルギー性鼻炎患者の約40%に副鼻腔陰影がみられた)

細菌性副鼻腔炎の診断は、**膿性鼻漏、顔面痛、細菌検査陽性**などが重要であり、画像診断には**断層撮影**や**CT撮影**が望ましい。

副鼻腔断層撮影写真



アレルギー性副鼻腔炎(左)

細菌性副鼻腔炎(右)



両側細菌性副鼻腔炎